

現在のズレ状態

丁寧さはある。だが、誰とも目が合っていない。

- 丁寧に書いている
- 言葉も整っている
- それでも反応が薄い
- 読まれて通り過ぎられる
- 違和感だけが残る
- 手応えがないまま終わる
- 自分を疑い始める

原因の特定

「想い」が、「順番」を追い越している

- 読み手の受け取る順番がズれている
- 伝えたい想いが先に出る
- 読者の状態が後回し
- 気持ちがにじむ前に説明が来る
- 入口で共感が起きていない
- 主語の位置がズれている
- 一段だけ噛み合っていない

誤認の破壊

「もっと書く」では、この溝は埋まらない

- × 文章の上手さは原因ではない
- × 熱量不足でもない
- × 丁寧さが解決にならない
- × 言葉の正しさは関係ない
- × ノウハウ不足でもない
- × 書き方を増やしても改善しない

ズレは技術ではなく「構造」で起きている。

基本構造の提示

「感情の入口」を、最優先に配置する

- 読み手の状態を先に置く
- 感情の入口から始める
- 体験を一つ差し込む
- 安心できる前提を置く
- 気持ちをにじませる
- 主張は後ろに回す
- 対話の形で配置する

変化の実感

言葉が「独り言」から「対話」へ変わる

- ひとりごとが対話になる
- 保存される頻度が増える
- 共感コメントが届く
- DMが発生する
- 読者の存在を感じる
- 信頼が少しずつ積み上がる
- 発信のストレスが減る

最小アクション

3分でできる再構成

1. 直近の投稿を一つ選ぶ
2. 最初の一文を削る
3. 読み手の今の感情を一行追加
4. 自分の気持ちを一行前に出す

- 説明を後ろへ移動する
- 主語を「読み手寄り」に変える
- 三行で構成を組み直す

資料の使い方

投稿前の「順番」セルフチェック

- 反応がない時の原因特定に
- 投稿前の順番確認用
- ズレ修正の明確な基準
- 対話化のチェックカード
- 温度設計・共感設計と併用
- 繰り返し使うことを前提とする

次の選択肢

順番を変えるだけで、言葉は届き始める

- 過去投稿を一つ修正する
- 順番だけを変えて再投稿する
- 反応の違いを冷静に観察する
- コメント内容を確認する
- 一週間だけ継続してみる